

「第48回由源全国書道展（学生部展）」に出品

令和7年6月25日（水）～6月29日（日）、大阪市立美術館にて第48回由源全国書道展（学生部展）が開催されました。

今春、3年ぶりにリニューアルオープンした大阪市立美術館、美術館の外装・内装は美しくなり展示室の照明もより明るく作品が見やすくなっていました。

厳かで格調高い美術館で展覧会が開催されることに感謝感激です。

また、コロナ感染の影響により中止になっていました、特別賞受賞者を対象とした授賞式も開催され喜びもひとしおでした。

今年度も、私どもの生徒（小学1年～高校生）が参加し、審査の結果次の成績をいただきました。

①特別賞（文部科学大臣賞、顧問賞、大阪市立美術館賞2点、大阪府知事賞、富田市長賞、池田市長賞、枚方市長、大阪市長賞、東大阪市教育委員会賞、大阪市教育委員会賞、富田林市教育委員会賞、池田市教育委員会賞、羽曳野市議会議長賞、八尾市議会議長賞、豊中市議会議長賞、審査委員賞3点）20点

②特選 20点 ④金賞 41点 ⑤銀賞 100点 ⑥銅賞 100点

⑦褒状 37点 でした。

今回展で、私どもの教室は10回目の参加となりましたが、教室から栄えある第1位賞の文部科学大臣賞を受賞し、また特別賞受賞者が増えましたことは嬉しい限りです。

展覧会の総出品数は3,200点。その内、特別賞受賞数は、全出品数の約5%という狭き門でした。

出品作品は全作品が展示され誠に壮大で圧巻でした。

とても広い展示室、来場したこどもたちは、保護者や祖父母の皆様とともに、自分の作品を一生懸命に探し、見つけては笑顔で写真撮影。親御さんの「良く頑張ったね」の声かけにこどもたちは更に笑顔でした。

授賞式では、厳かな雰囲気の中で、順に氏名を呼ばれトロフィーと賞状を授与されました。

お辞儀をし、緊張した面持ちで受け取る様子を見ているととても新鮮で、作品制作での時間が思い出され熱い思いが込みあがりました。

切磋琢磨しながら日々練習に取り組み、それが個々の実力となり結果につながったと思います。

結果もさることながら、大切にしてほしいこと、それは日々の練習の過程、取り組む姿勢です。

生徒達は上手く書けず悩み、どうしたら上手く書けるのか「考え、聞き、実践」しました。

様々な環境の中でがんばって取り組む姿勢こそこどもたちの力となっています。

私たち指導者が受講生と接する中で学ぶことも多くあります。

これからも変わらず「支え、支えられ」共に学びましょう。

みなさん、おめでとうございます。次回展も共に頑張りましょう。

